

社会資本総合整備計画

社会資本整備総合交付金

令和06年02月14日

計画の名称	上峰町中心市街地における交通結節点の整備計画													
計画の期間	令和06年度 ~ 令和10年度（5年間）											重点配分対象の該当		
交付対象	上峰町													
計画の目標	現在、上峰町内に中心市街地開発が進んでおり、商業施設、公的機関、教育施設、定住促進住宅等、様々な施設が令和7年度より随時稼働していく予定である。 そのため、従来の人の流れから大きく変化が生じることが予想され、町内からの移動のみならず、町外からの往来に対応した公共交通体系等の構築が課題となっている。 本町では、「巡回バス（コミュニティバス）の路線変更」、「バス停環境の整備」、「利用促進等の強化」等を柱とした「上峰町地域公共交通計画」及び「上峰町地域公共交通利便増進実施計画」を令和6年度中に策定予定である。 そのうち、バス停環境の整備として整備を計画している2つのバス停留所は、中心市街地の主要な出入り口となるものであり、バス乗降という機能だけではなく、情報伝達面及びデザイン的にも新しく開発される中心市街地にふさわしいものとし、地域振興に寄与することを目的とするものである。													
全体事業費（百万円）	合計（A + B + C + D）		20	A	20	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / （A + B + C + D）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		（ R6年度当初 ）	（ R8年度末 ）	（ R10年度末 ）
1	バス停A（中心市街地北側）における利用者数（乗降者数）を、10人/日（R6）から33人/日（R10）に増加			
	バス停A（中心市街地北側）における乗降者数を計測する。	10人/日	33人/日	33人/日
2	バス停B（中心市街地南側）における利用者数（乗降者数）を、20人/日（R6）から67人/日（R10）に増加			
	バス停B（中心市街地南側）における乗降者数を計測する。	20人/日	67人/日	67人/日

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定		避難行動要支援者名簿の提供	

A 基幹事業																				
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
地域公共交通再構築 事業	A17-001	地域交通	一般	上峰町	直接	上峰町	-	-	バス停留所A（中心市街地 北部）の整備	用地整備20㎡、上屋建設、情 報機器設置	上峰町	■	■	■	■	■	10	4.24	-	
	A17-002	地域交通	一般	上峰町	直接	上峰町	-	-	バス停留所B（中心市街地 南部）の整備	用地整備20㎡、上屋建設、情 報機器設置	上峰町	■	■	■	■	■	10	4.24	-	
												小計						20		
											合計						20			